



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	トヨタバッテリー株式会社 新居試験棟新築工事	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	------------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5	
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.7	/5	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号((1)～)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	3.5
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		
■室内環境対策 ((1)室温制御/(2)星光対策/(3)グレア対策/(4)部品・部材の耐用年数) (4)高耐久な仕上げ材の使用による長寿命化を図っている。	Q-1 2 2.1 2.1.2 (1) Q-1 3 3.1 3.1.3 (2) 3.2 3.2.1 (3) Q-2 2 2.2 2.2.1 (4) 2.2.2 (4) 2.2.3 (4) 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 (4) 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 (4) 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 (4) 主要設備機器の更新必要間隔	外皮性能 星光利用設備 星光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 ((5)生物環境の保全と創出/(6)敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 (5) 3 3.2 (6)	生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 ((7)建物外皮の熱負荷抑制/(8)自然エネルギー利用/(9)設備システムの高効率化/(10)効率的運用) (9)LED照明の採用。高効率空調機の導入。 (10)主要エネルギーの管理。	LR-1 1 (7) 2 (8) 3 (9) 4 4.1 (10) 4.2 (10)	建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 モニタリング 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 ((11)水資源保護/(12)非再生性資源の使用量削減/(13)汚染物質含有材料の使用回避) (11)雑排水利用設備の導入による雑排水の有効利用。 (12)リサイクル材(OAフロア)の採用。	LR-2 1 1.1 (11) 1.2 1.2.1 (11) 1.2.2 (11) 2 2.1 (12) 2.2 (12) 2.3 (12) 2.4 (12) 2.5 (12) 2.6 (12) 3 3.1 (13) 3.2 3.2.1 (13) 3.2.2 (13) 3.2.3 (13)	節水 雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒
■敷地外環境対策 ((14)地球温暖化への配慮/(15)温熱環境悪化の改善) (14)省エネルギー対策により、LCCO2の削減に努めている。	LR-3 1 (14) 2 2.2 (15)	地球温暖化への配慮 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)	得点	3.3
■サービス性能対策 ((16)耐震・免震/(17)信頼性) (17)高耐久な配管材の使用による長寿命化を図っている。	Q-2 2 2.1 2.1.1 (16) 2.1.2 (16) 2.4 2.4.1 (17) 2.4.2 (17) 2.4.3 (17) 2.4.4 (17) 2.4.5 (17)	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	3.7
■サービス性能対策 ((18)機能性・使いやすさ/(19)心理性・快適性/(20)空間のゆとり)	Q-2 1 1.1 1.1.3 (18)(19) 3 3.1 3.1.1 (20) 3.1.2 (20)	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 ((21)地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 (21)	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	得点	2.5
■室外環境(敷地内)対策 ((5)生物環境の保全と創出/(6)まちなみ・景観への配慮/(7)敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 (5) 2 (6) 3 3.2 (7)	生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 ((12)持続可能な森林から産出された木材/(15)温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 (12) LR-3 2 2.2 (15)	持続可能な森林から産出された木材 温熱環境悪化の改善

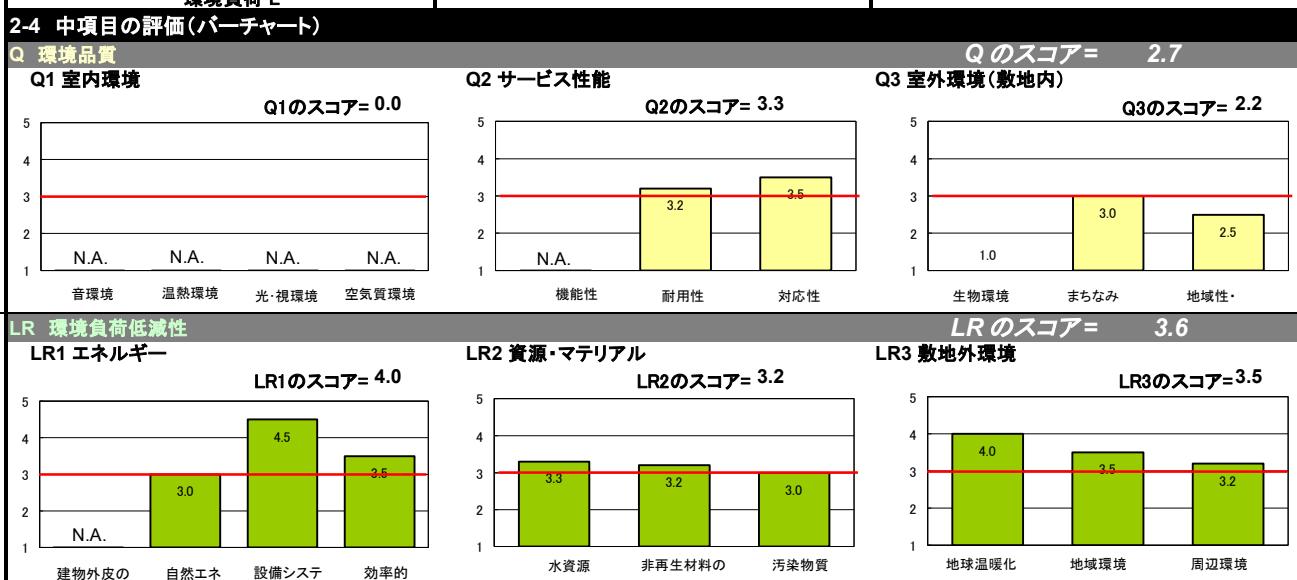
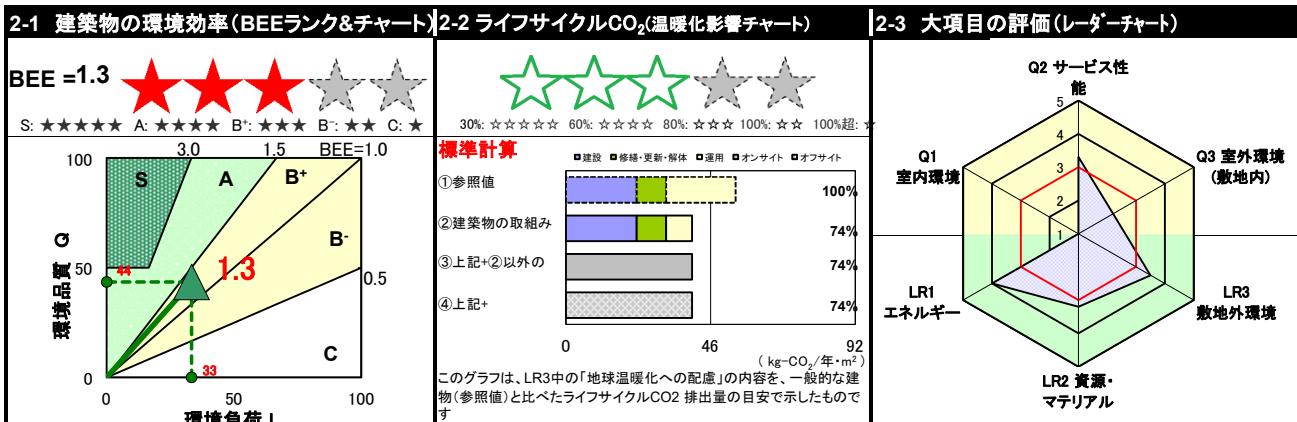
CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	トヨタバッテリー株式会社 新居試験	階数	地上1F	
建設地	静岡県湖西市古見字大沢458-1の1	構造	RC造	
用途地域	工業専用地域、指定なし、法第22条	平均居住人員	20人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,500時間/年(想定値)	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年5月 予定	評価の実施日	2025年12月19日	
敷地面積	56,259 m ²	作成者	高橋 春那	
建築面積	5,983 m ²	確認日		
延床面積	5,992 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
整合		その他
これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		・特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・評価対象外	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さにゆとりを持った計画としている。	・高温排熱機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・高強度の材料やリサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される